

留学報告書 II (2023 年度留学生)

塾内在籍校・学年(派遣時)	慶應義塾女子高等学校 2 年
留学先校名	Christ's Hospital 【2023 年度試験的に派遣】
留学期間	2023 年 9 月から 2024 年 6 月まで

留学を振り返って

留学先では、期待どおりの生活を過ごせましたか？（留学先の良かった点・悪かった点も教えてください。）

留学生生活を振り返ると、勉強面、生活面ともに充実した、期待を遥かに超える 10 ヶ月間を過ごすことができました。このような素晴らしい体験を可能にしてくださり、留学間支え続けて下さった一貫教育センターの方々、女子校の先生方、家族、また Christ's Hospital の先生方及び友人たちなど全ての方々に深く感謝しております。

良かった点は多々ありますが、学業の面で私にとって特に印象深いものとして、授業中に頻繁に取り行われる内容に関連した時事問題についてのディスカッションやディベートが挙げられます。世界中から集まった優秀な生徒たちの多様な見解、価値観には常に驚かされ、私にとってとても良い刺激となりました。これらを通して、自身の考えをわかりやすく言語化する能力を伸ばすことができ、更に様々な事についての自身の探究心が強くなったと感じています。また、積極的に自身の意見を発言することで、学友たちに対等な学び相手として認めてもらえたように感じます。特に数学や、年間学年 1 位を取り続けることができた経済で、勉強面において頼られる存在になれたことはとても嬉しい思い出です。

生活面で一番に挙げられることは、とても幸運なことに素晴らしい友人たちに恵まれ、想像を遥かに超えた良い友人関係を結ぶことができたことです。友人たちの高い向上心や様々な事に対する高い関心にはとても良い影響を受け、時には共に努力し時には切磋琢磨する仲でした。暇さえあれば常に誰かと楽しくかつ有意義な、時には冗談を交えたくだけた会話ができてという環境は本当に恵まれたものだと思います。

Christ's Hospital で出会った友人たち、先生方、また得られた経験は私の一生物の財産です。

クラブ活動や課外活動など、学業以外の活動について教えてください。

スポーツ

学期ごとにメジャースポーツが変わり、週 3 回のスポーツ活動が最低限義務付けられていました。

課外活動

Christ's Hospital は課外活動を重視しており、授業より優先されるということも多々ありました。多数のコミュニティやクラブがあり、時間帯が被らない限りいくつでも参加することができます。

● MUN (模擬国連)

週に一回通常活動があり、内容としては Resolution の作成やその発表、及び議論が多かった印象です。

Michaelmas term には internal conference という校内での模擬国連大会があり、更に Lent term には Haileybury MUN というヨーロッパ最大級の模擬国連の大会にも参加しました。国際情勢や時事問題について更なる見聞を得られるだけでなく、リサーチ力やプレゼン力なども鍛える事ができる有意義な時間を過ごす事ができたと感じています。

● Community action

ボランティア活動の一環として、地元のケアホームや小学校を訪れる活動です。私は子供達に数学を教え

ていました。地元の人達と触れ合う事ができる貴重な機会であり、地域社会への還元にもつながる良い経験でした。

- **Duke of Edinburgh Award active Silver**

奉仕活動、野外での研修キャンプなどを通じて自主性、協調性を育み、自立心を高めることを目的とした **Duke of Edinburgh Award(silver)** の取得のための活動です。7 時間以内で **24km** を歩くハイキングを 2 回ほど練習した後、2 泊 3 日の日程で、必要な荷物全てをリュックで背負ってそのハイキングを続けるキャンプがありました。ハイキングでは自分達だけで地図とコンパスを使用してナビゲーションをする必要があり、時には道が見つからなかったり自分達の現在位置がわからなくなったりなどとトラブルに苦労しましたが、その過程で仲間との絆も深まり、楽しく過ごすことが出来、充実した三日間を過ごせたと感じています。

学業について

各授業について授業の内容・進め方・課題・試験・日本との比較などについて触れながら記入してください。

- 数学

私のクラスは 14 人と、他の科目に比べると比較的大人数でしたが、先生が各生徒の理解度や進度を常に確認しており、手厚いサポートが受けられる環境でした。Pure Maths は既に日本で学習済みの部分などもありましたが、Statistics はデータ分析力が問われることも多く日本では習得しないカリキュラムであったため、新鮮でした。

- 経済

マクロ経済学とミクロ経済学に分かれており、それぞれの分野を二人の先生が担当していました。エッセイベースの科目であったため日本での経済の授業とは大きく重点を置く内容が異なりましたが、事前知識が役に立つことも多々あり、日本での学びも大きく生かす事ができたと感じています。また、生徒の探究心を最も重視している教科の一つで、履修内容に関連すること全てについての質問を強く推奨していました。クラスメイトの鋭い着眼点や向上心に驚かされることも多々あり、常に良い影響を受けていました。

- 歴史

私は **medieval history** を学びました。ただ内容を学ぶだけでなく、文献や教材を分析することで生徒各々が歴史的出来事に対する独自の解釈や可能性を導き出す事に重点が置かれた科目でした。授業は基本的にディスカッションベースで、コンテンツの学習後必ず生徒それぞれの意見や見解を議論する時間がとられました。クラスのサイズが 5 人と非常に少人数であったからこそ生徒それぞれが自身の意見を気兼ねなく共有できる環境があったと感じています。時にはクラスを二つに分け、二つの対極的な見解について白熱したディベートが行われる授業は私が最も楽しむ事ができた授業の一つでした。

- **EPQ (Extended Project Qualification)**

自身の興味分野について **Topic question** を考え、そのテーマについて深く掘り下げ、最終的には約 6000 語の論文を書き上げることを目的とした授業です。私にとって、半年以上もの時間をかけて一つの長い課題に取り組むことは初めてで、新しい体験でした。本や文献、ニュース記事などを読みりサーチから始まり、テーマについてよく理解した後、**Research summary** という各文献の内容、信憑性、トピックへの関連性などを分析したレポートを提出しました。リサーチを終えた後は、論文の主体となる部分を描き始めます。私は大きく道徳、法律、政治の三つに論点を絞り、それぞれの範囲で挙げられるポイントを説明、

分析しました。締め切りに追われながらも書き終えた達成感は今でも忘れられません。本として出版される学年の優秀作にも選んで頂き、とても光栄でした。

今後について

この派遣留学を通して、自分自身にどのような変化があったと感じていますか。

10ヶ月間の留学生活を通して、私は環境の違いから、また周囲の人々から様々な影響を少なからず受け続けました。中でも、自身の向上心や探究心などは飛躍的に向上したと自分でも実感しています。学業、スポーツ、音楽など何らかの面で秀いでている学友たちが目標に向かって様々な方法で更に努力を積み重ねる姿を四六時中見ることは、私も負けずに努力をしたい、このような素晴らしい学友たちに認められるまでの成果を残したい、というモチベーションに繋がりました。

もう一つ自身の中での変化として、他者への責任感が培われたと感じています。これは勿論一人で身の周りの全てを管理することによる影響もありますが、主に寮内での交流を通して養われたものだと感じています。Christ's Hospital では、寮内の最高学年である私たちが Year 7 から 11 までの生徒たちをサポートすると共に監督する事が求められていましたが、私にとって 50 人もの下級生たちの生活に寄り添うということは初めての体験で、初めはどうすれば良いのか戸惑いもありました。寮内の生徒たちと学年を超えて親しくなることこそ簡単でしたが、規則を破った場合や生徒間のトラブルに対する対応などはどうしたものか悩む事もありました。しかし生活を通して多くのことを学び、サマータムなどでは寮の marching をリードしたり、友人関係や進路などの相談に乗る事も多々あり、聞く姿勢を培うと共に、頼られる存在になる事ができたと思います。また、Christ's Hospital での経験を通して、いつでも何かあれば友人達に頼る事ができることを改めて実感しました。寮内の友人達の毅然とした態度やリーダーシップから大きく学ばされることも多々ありました。まだまだ至らない点や友人たちから学ぶべき点は多くありますが、このような経験を経て、人の話を聞く姿勢や、人を頼り頼られることの大切さを学ぶ事ができました。

今後の派遣留学生へのアドバイス

留学先では、課外活動から講演、行事まで様々なイベントに参加する機会が多くあります、どれをとっても必ず有意義な経験となるため、機会を模索し、可能な限り積極的に参加することをお勧めします。何か困りごとがあれば、一人で悩まず友人や先生方など、周りに多くいる頼れる人たちに相談することをお勧めします。うまくいかないことや心配事もあるかもしれませんが、それらもまた自己成長の機会であり、経験の一つだと思って、何より留学生活を目一杯楽しんでください！

